

# 朋鳥



## 同窓会報 2017

岩手県立盛岡第三高等学校同窓会事務局  
〒020-0114 岩手県盛岡市高松四丁目17-16  
TEL 019-661-1735 FAX 019-661-1221

●発行 平成29年9月19日



今年4月、副校長に17回生の鈴木裕さんが赴任した。これで11回生の山形守平校長、17回生の清川義彦副校長と校長、副校長（2名）がOBとなり、これまでの50余年の歴史の中でもなかった喜ばしい状況である。平成24年の創立50周年記念の際に、次の50年に向けての新たなスタートをきることとしたので、教職員と在校生の皆さんと一緒に、新しい歴史の基礎を築いてほしいと思う。

同窓会は皆さんから在学中にいただいた会費と創立50周年を機に始めた寄付金などで運営している。通年寄付をお願いすることとしたのは、在校生への活動支援と次期周年行事への積立ということである。創立時の卒業生が団塊の世代として定年退職を迎えることもあり、会員の皆さんのいろいろな記念や節目の時などに、幅広く母校支援にご協力をいただきたいとして始めたものである。お陰様で、例年100万円を超える寄付をいただき、うち50万円を在校生の部活動の支援に使わせていただいている。今般学校から、三高独自の科学探究活動を中心に据えた人材育成への支援要請が来ている。これまで文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けて、国際的な科学技術関係人材の育成に6年間取



同窓会長  
泉山良男

## 新しい歴史 の担い手

り組んできた。29年度からSRH（サイエンスリサーチハイスクール）として継続して行いたいとのことである。今年の総会で予算化させていただきたいと考えている。

昨年の総会で、同窓会の税対策についてのご意見をいただいた。同窓会や町内会などのような団体でも法人税の対象であるが、物品を販売するなどの収益事業がなければ課税されないということである。同窓会事務局を学校に置いてから久しいが、日々の事務はOBの教職員の方々にお願いしている。多額の予算で運営していることから、今後とも皆さんのご理解を得ながら、できる限りの母校支援をしていきたいと考えている。



校長  
山形守平

## 歴史をつくる 使命もて

同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に多大なるご理解、ご協力、ご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

本校は創立55年目を迎え、私は校長として2年目を迎えています。それは昨年7月の出来事でした。東北六県高等学校長研究協議会の出張で山形に向かい、盛岡駅から新幹線に乗った時でした。座席に着き、上着を窓際のフックに掛けた時に、前の席の男性に声をかけられました。上着が邪魔なのかなと思い、「すみません」と言おうとした矢先、襟のバッチ（三高の校章）を指さして、「もしかして校長先生ですか」と聞かれました。お話をすると、4回生の先輩であることが分かりました。大学から東京に出て就職され、東京に居を構え、今回は法事で岩手に帰ってきたという話から、名刺を交換してSNSでも繋がることになりました。校章が繋いでくれたとて

も嬉しい出会いでした。

本校の校章は高の両側にそれぞれ三つの羽が鎮座し、鵬の羽ばたきを象徴すると共に、それぞれ自由、平和、愛を意味し、限りなく広がる夢と知と情を表しています。校歌の二番、「自由と平和 愛と知の 理想の翼伸ばさなん」と云うわけです。自分が高校生の頃には、校章もそして恥ずかしながら校訓である「随処為主」も、ちゃんとした意味が分からないまま過ごしてしまいました。今改めて本校の歩んできた歴史そして存在意義を噛みしめているところです。

さて、ここ3年間を見る限り、本校への志願者数は約1.5倍を超える高倍率が続き、中学生が今一番入りたい高校と云っても決して過言ではありません。私は学校教育の成否は、卒業生が母校に誇りを持ち、社会で活躍する人材をいかに輩出するかにあると考えています。そういう意味でも現在本校が置かれている状況は、ひとえに同窓生の皆様の活躍によるものと確信する次第です。

本校が「さわやか三高」であり続けるために、そしてここ緑丘の地で高校生活を送る生徒一人ひとりが新たな歴史の担い手となり、理想の翼を広げ羽ばたいて行けるように、同窓会の皆様のより一層のご指導、ご鞭撻を頂きながら、教職員一同全力で取り組んでいく所存です。

至誠一筋 向上に いそむ我等 誇りあり

## 「偶然を活かす」



吉田 清司 (14回生)

私はバレーボール部の山形守平先輩（現校長・11回生）が卒業すると同時に三高に入学しました。先輩が三高校長に着任されてから、何度か母校での講演を依頼されてきましたが、分不相応とお断りしてきました。

しかし、山形校長も今年度で定年退職となります。在職中にせめてもの恩返しと決断し、本年6月5日、三高緑丘セミナーにおいて「スポーツを通した職業観」のテーマで後輩たちに講演をさせてもらいました。

東京で大学教員をしておりますが、高校生の頃から研究職を目指していたわけではありません。まずは、三高保健体育教員室の楽しそうな雰囲気を見て教職に魅力を感じ、岩手大学保健体育科に進学しました。岩手大学バレー部には工学部、農学部などそれぞれ違った目的、価値観を持った部員が集まっており、インカレに出場するか否かを決めるにも意見が分かれる程で、競技と楽しさの追求が葛藤する中でプレーをしていました。

しかし、いざインカレに出場してみると、選手としても指導者としても、自分のバレーがトップレベルで通用するのではないかという手応えを感じました。そこで、筑波大の大学院でバレーをもっと学びたいと思い、入試に必要と考えて大学在学中に英語教員免許も取得しました。

筑波大の修士課程ではコーチ学を専攻し、その後、Vリーグコーチ、五輪コーチを経て大学教員となりました。

自分にしか出来ないものは、好きで得意なものが多いと思います。誰よりも拘りを持ち、それについて朝まで

### 【略歴】

岩手県盛岡市生まれ  
仁王小〜黒石野中〜盛岡第三高校(14回生)〜岩手大〜筑波大学大学院修了。  
1988年 ソウル五輪全日本女子バレーボールチームコーチ  
1997年 オーストラリア男子バレーボールチームコーチ  
2008年 北京五輪全日本男子バレーボールチームアナリスト  
2008年 F C東京バレーボールチーム監督  
2009年 東アジア競技大会全日本男子バレーボールチーム監督

### 【現職】

専修大学スポーツ研究所教授、日本バレーボール学会理事として教育・研究に研鑽を積むとともに、FC東京バレーボールチーム副部長・総監督、日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員会副委員長、国際バレーボール連盟公認コーチを務め、研究と選手育成の架け橋となるべく活動している。

### 【著書】

「スポーツを知る・する・考える」(不昧堂)、1995年  
「バレーボール 基本から戦術まで」(日東書院)、2002年  
「バレーボール100Q入魂」(日本文化出版)、2005年  
「Volleypedia」(日本文化出版)、2010年  
「21世紀スポーツ大事典」(大修館書店)、2015年  
「考えて強くなるバレーボールのトレーニング」(大修館書店)、2016年  
「コーチングバレーボール」(大修館書店)、2016年

語れるくらいの事だからこそ、誰にも負けない成果物ができます。振り返ってみますと、私は「好きなこと・やりたいこと」を追求していったら、「スペシャリスト」になり、「スペシャリスト」としての「成果物」が評価され、偶然に「職業」に結びついたと思っています。

ですから、緑丘セミナーで「私はAccidental Professor（偶然の大学教授）です」と自己紹介しました。ただし、偶然とはいっても、それぞれの過程で与えられたチャンスを精一杯活かす努力をしてきた自負があります。フランスの細菌学者ルイ・パスツールは、「偶然は準備のできていない人を助けない」という言葉を残しました。成長には準備が必要で、いつチャンスが訪れるかは予測できません。準備ができていなければ、チャンスは去っていきます。緑丘セミナーではそんな「職業観」について話をさせてもらいました。

久しぶりに見る三高生は、我々の時代と比べて段違いに立派な後輩たちでした。見知らぬ私と廊下ですれ違うたびに、「こんにちは！」と気持ちの良い挨拶で迎えてくれました。講演中も姿勢を乱さず、熱心にメモを取りながら聞いていました。講演後の質問も挙手が途切れず、積極的に学ぼうとする意欲を感じました。後日送られてきた感想文からは、私の言葉を咀嚼して自分なりの職業観に結びつけようとする柔軟な思考力が読み取れ、嬉しく思いました。私との「偶然の出会い」を活かそうとする「鴻鵠之志」が根付いていることを感じさせてくれた緑丘セミナーでした。山形校長をはじめ、後輩たちと交流の機会を設けてくれた関係各位に感謝申し上げます。



## ▼女子

団体

2 回戦 盛岡第三 0-2 盛岡第二

●平成29年度東北高等学校選手権大会

## ▼男子

個人戦 吉田直樹・沢藤 嶺 1 回戦敗退

●第11回東北高等学校春季ソフトテニス選手権大会

## ▼男子

団体 リーグ 2 勝 1 敗で敗退

## テニス部

### ●高総体

### ▼男子

団体戦

1 回戦 盛岡第三 1-2 花巻北

### ▼女子

団体戦

準決勝 盛岡第三 1-2 盛岡第一

東北大会代表決定戦

第3位 盛岡第三 1-2 盛岡白百合

個人戦シングルス

吉水春菜・高橋優実 (東北大会出場)

※ベスト8

関亜矢香 ※ベスト16

個人戦ダブルス 第2位

吉水春菜・高橋優実 (東北大会出場)

●平成29年度東北高等学校選手権大会

### ▼女子

個人戦シングルス

吉水春菜・高橋優実 1 回戦敗退

個人戦ダブルス

吉水春菜・高橋優実 1 回戦敗退

●第38回岩手県ジュニアテニス選手権大会

### ▼女子

18歳以下シングルス

第5位 吉水春菜 (東北大会出場)

18歳以下女子ダブルス

第3位

吉水春菜・関亜矢香 (東北大会出場)

16歳以下女子シングルス

第2位 高橋優実 (東北大会出場)

## ボート部

### ●高総体

### ▼男子

シングルスカル

第4位 加藤 寛

ダブルスカル

第2位 三上 剛・柚澤周平

(東北大会出場)

舵手付きクォドルプル

第3位 横田 涼・柞山 開・藤岡雄大・

齊藤悠人・岩崎竜士 (東北大会出場)

### ▼女子

シングルスカル

第1位 坂井田奈菜

(東北大会・インターハイ出場)

ダブルスカル

第1位 岡本夏佳・齊藤綾乃

(東北大会・インターハイ出場)

第3位 金崎琴音・島 奈穂

(東北大会出場)

舵手付きクォドルプル

第2位

佐々木麻里奈・照井綾香・中川奈穂・

菊池真乃・兼田倅帆 (東北大会出場)

## ●平成29年度東北高等学校選手権大会

### ▼男子

ダブルスカル

三上 剛・柚澤周平 準決勝出場

舵手付きクォドルプル

横田 涼・柞山 開・藤岡雄大・

齊藤悠人・岩崎竜士 準決勝出場

### ▼女子

シングルスカル 坂井田奈菜 準決勝出場

ダブルスカル

第5位

岡本夏佳・齊藤綾乃・金崎琴音・

島 奈穂 敗者復活戦敗退

舵手付きクォドルプル

佐々木麻里奈・照井綾香・中川奈穂・

菊池真乃・兼田倅帆 敗者復活戦敗退

## 野球部

●第99回全国高等学校野球選手権岩手大会

2 回戦 盛岡第三 12-0 (5コールド) 盛岡商

3 回戦 盛岡第三 8-1 (7コールド) 岩手

4 回戦 盛岡第三 3-4 宮古

## <文化部>

## 書道部

●第15回岩手県高等学校書道作品コンクール

奨励賞 泉山温南 館澤智子 中森理子

## 囲碁将棋部

●第39回岩手県高等学校将棋大会

団体

B級 第1位

菊池 智・柴田創一・藤原直樹

B級 第2位

小野寺俊亮・山本凱也・石京慎之介

個人

B級 第4位 山本凱也

C級 第2位 佐藤悠太

## 吹奏楽部

●全日本吹奏楽コンクール第55回岩手県大会

金賞 (東北大会出場)

●全日本吹奏楽コンクール第60回東北大会

銀賞

## 音楽部

●第69回全日本合唱コンクール岩手県大会

銀賞 (東北大会出場)

## <委員会>

## 視聴覚委員会

●第64回NHK杯全国高校放送コンテスト

岩手県大会

テレビドキュメント部門『FLY』入選

(全国大会出場)

創作ラジオドラマ部門『古文男子』入選

アナウンス部門 入選 金子奈々花

朗読部門 入選 吉田 悠乃

## 平成28年度 全国大会の報告

## <運動部>

### 新体操部

●全国高等学校総合体育大会

個人総合

第32位 小田嶋萌生 (3年)

団体

第17位 小田嶋萌生 (3年)

齊藤 陽菜 (3年)

藤田 日和 (2年)

小川 葉奈 (1年)

柳田ほたる (1年)

●第71回国民体育大会

第6位 小田嶋萌生 (3年)

齊藤 陽菜 (3年)

藤田 日和 (2年)

小川 葉奈 (1年)

柳田ほたる (1年)

●第71回国民体育大会

女子舵手付きクォドルプル

第7位 崎沢 萌衣 (3年)

### 水泳部

●全国高等学校総合体育大会

100m平泳ぎ 出場 齊藤 聖隆 (3年)

200m平泳ぎ 出場 齊藤 聖隆 (3年)

●第71回国民体育大会

少年男子A

200m平泳ぎ 出場 齊藤 聖隆 (3年)

400mメドレーリレー

出場 齊藤 聖隆 (3年)

### バスケットボール部

●第71回国民体育大会

少年女子 出場 高村 愛実 (3年)

中村 まこ (3年)

八重樫一紗 (3年)

### スキー部

●第66回全国高等学校総合体育大会

スラローム

第58位 吉田 匠吾 (1年)

ジャイアントスラローム

第75位 吉田 匠吾 (1年)

●第72回国民体育大会冬季大会

ジャイアントスラローム

第54位 吉田 匠吾 (1年)

### スケート同好会

●第66回全国高等学校総合体育大会

スケート競技選手権大会スピード競技

女子500m 第49位 鈴木 桃衣 (3年)

女子1000m 第53位 鈴木 桃衣 (3年)

男子1000m 第11位 山口 知己 (2年)

男子1500m 第16位 山口 知己 (2年)

●第72回国民体育大会冬季大会

少年女子2000mリレー

第5位 鈴木 桃衣 (3年)

少年男子2000mリレー

第7位 山口 知己 (2年)

●第7回全国高等学校

選抜スピードスケート競技会

男子1000m 第74位 山口 知己 (2年)

男子1500m 第8位 山口 知己 (2年)

## <文化部>

### 文芸部

●第31回全国高等学校文芸コンクール

【文芸誌部門】

優秀賞「黎」16号

【詩部門】

入選 佐藤 薫乃 (3年)

【随筆部門】

入選 田鎖 寛都 (1年)

太田 彩季 (1年)

【小説部門】

最優秀賞・文部科学大臣賞

佐藤 薫乃 (3年)

優良賞 水野 綾香 (3年)

熊谷 奈南 (3年)

入選 岩崎麻里奈 (3年)

●第7回文芸誌甲子園

(富士正晴全国高等学校文芸誌賞)

【文芸誌賞】

優秀賞「黎」16号

【全国高校生文学賞】

優秀賞 佐藤 薫乃 (3年)

# 2017

## 部活動 報告



### 平成29年度

#### <運動部>

##### 陸上競技部

###### ●高総体

###### ▼男子

3000mSC

第3位 松館 快(東北大会出場)  
走高跳 第6位 新里優太(東北大会出場)  
4×100mR 第4位 新田倅大・山口知己・  
工藤澁也・藤澤 展(東北大会出場)

###### ▼女子

5000mW

第2位 阿部ひかる(東北大会出場)  
円盤投 第3位 黒澤果令(東北大会出場)  
走幅跳 第3位 前田桃華(東北大会出場)  
走高跳 第4位 葛巻美波(東北大会出場)  
●平成29年度東北高等学校選手権大会

###### ▼男子

3000mSC 予選12着 松館 快  
走高跳 (出場) 新里優太  
4×100mR 準決勝 7着

新田倅大・山口知己・工藤澁也・藤澤 展

###### ▼女子

5000mW 第11位 阿部ひかる  
円盤投 第17位 黒澤果令  
走幅跳 第21位 前田桃華  
走高跳 (出場) 葛巻美波

##### 新体操部

###### ●高総体

種目別フープ(3位まで東北大会出場)

第1位 柳田ほたる  
第2位 藤田日和  
第3位 小川葉奈

種目別リボン

第1位 藤田日和  
第3位 柳田ほたる  
第4位 小川葉奈

個人総合

第1位 藤田日和  
第2位 柳田ほたる  
第4位 小川葉奈

団体(東北大会・インターハイ出場)

第1位 盛岡第三

●平成29年度東北高等学校選手権大会

種目別フープ

第11位 柳田ほたる  
第16位 藤田日和

種目別リボン

第8位 藤田日和  
第15位 柳田ほたる

個人総合

第12位 藤田日和  
第14位 柳田ほたる  
団体 第5位 盛岡第三

##### バレーボール部

###### ●高総体

###### ▼男子

準々決勝 盛岡第三 0-2 盛岡南  
※ベスト8

※優秀選手 佐藤俊兵

###### ▼女子

3回戦 盛岡第三 0-2 一関一  
※ベスト16

##### バスケットボール部

###### ●高総体

###### ▼男子

準決勝 盛岡第三 62-93 一関工  
第3位

※優秀選手 熊谷航洋

###### ▼女子

準決勝 盛岡第三 51-83 一関学院  
第3位

※優秀選手 工藤さくら

##### 卓球部

###### ●高総体

###### ▼男子

団体  
2回戦 盛岡第三 0-3 盛岡市立

###### ▼女子

団体  
1回戦 盛岡第三 0-3 一関一

##### バドミントン部

###### ●高総体

###### ▼男子

団体  
2回戦 盛岡第三 2-3 黒沢尻工

###### ▼女子

団体  
3回戦 盛岡第三 0-3 北上翔南  
※ベスト16

##### 弓道部

###### ●高総体

###### ▼男子

団体予選 準決勝進出 ※ベスト8

###### ▼女子

団体予選 予選敗退

##### 空手道

###### ●高総体

###### ▼男子

組手 第3位 飛田 龍(東北大会出場)  
▼女子  
形 第2位 乙部真優子  
(東北大会・インターハイ出場)

##### 剣道部

###### ●高総体

団体戦予選リーグ 予選リーグ敗退

###### ▼女子

団体戦予選リーグ 予選リーグ敗退

##### 水泳部

###### ●高総体

###### ▼男子

100m背泳ぎ 3位 勝山大暉  
200m背泳ぎ 3位 勝山大暉  
400m個人メドレー 3位 遠藤祐太郎

1500m自由形 3位 高嶋龍太郎  
200m個人メドレー 5位 遠藤祐太郎  
200m自由形 5位 高嶋龍太郎  
6位 上澤田宇宙

800mリレー

勝山大暉・遠藤祐太郎・上澤田宇宙・  
高嶋龍太郎

400mメドレーリレー 7位

勝山大暉・小川耕世・上澤田宇宙・  
高嶋龍太郎

###### ▼女子

100m平泳ぎ 1位 東條真奈

200m平泳ぎ 1位 東條真奈

200m個人メドレー 3位 村上碧依

100m背泳ぎ 4位 村上碧依

50m自由形 5位 川崎詩永里

100mバタフライ 5位 川崎詩永里

400m個人メドレー 5位 三尾夏奈子

400mメドレーリレー 2位

村上碧依・東條真奈・川崎詩永里・

嶋田見月

400mリレー 4位

川崎詩永里・東條真奈・村上碧依・

嶋田見月

800mリレー 4位

東條真奈・村上碧依・川崎詩永里・

小川由希

(以上東北大会出場)

●平成29年度東北高等学校選手権大会

100m平泳ぎ 1位 東條真奈

(インターハイ出場)

200m平泳ぎ 5位 東條真奈

##### サッカー部

###### ●高総体

2回戦 盛岡第三 0-7 盛岡商業

##### ラグビー部

###### ●高総体

A Bブロック入替戦

盛岡第三 53-19 盛岡南

##### ハンドボール部

###### ●高総体

###### ▼男子

準々決勝 盛岡第三 16-21 盛岡第一  
※ベスト8

※特別敢闘賞 長谷川優駿

###### ▼女子

準々決勝 盛岡第三 16-18 盛岡白百合  
※ベスト8

※特別敢闘賞 中川梨紗子

##### ソフトテニス部

###### ●高総体

###### ▼男子

団体 準決勝 盛岡第三 1-2 黒沢尻工  
※ベスト8

個人戦 吉田直樹・沢藤 嶺 4回戦敗退  
(9位で東北大会出場)

学校ホームページお知らせ 生徒の活動等詳しくはHPをご覧ください。 <http://www2.iwate-ed.jp/mo3-h/>

## 母校支援 寄付のお礼

平成25年度より会員の皆様にあらたに寄付のお願いをし、皆様より多大なご厚情を賜り誠にありがとうございます。今年度、皆様よりいただいた寄付の中から50万円を母校の春季合宿費用に援助させていただきました。おかげさまで、本年の高総体では新体操部・水泳部・ボート部・空手道部のインターハイ出場を始め各部が、上位入賞の活躍をしてもらうことができました。これもひとえに皆様からのご支援の賜と存じます。今後も引き続き、次期周年事業にかかる資金の計画的な積立を行いながら、母校生徒の学習環境の充実に向けた支援について本会としてより一層の協力を図りたい所存であります。本趣旨に対し何分のご配慮を賜り、会員の皆様にご協力いただければ幸いです。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

同窓会会長 泉山 良男

## 同窓会役員名簿

|         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 会 長     | 泉 山 良 男 | 2 回 生  |
| 副 会 長   | 滝 村 民 明 | 1 回 生  |
|         | 山 内 隆 文 | 5 回 生  |
|         | 平 井 滋   | 8 回 生  |
|         | 藤 原 誠 司 | 13 回 生 |
| 理 事     | 藤 田 光 孝 | 3 回 生  |
|         | 増 澤 ひかり | 3 回 生  |
|         | 小 錦 明   | 7 回 生  |
|         | 村 田 達 彦 | 13 回 生 |
|         | 及 川 正 樹 | 15 回 生 |
|         | 伊 勢 志 穂 | 16 回 生 |
|         | 佐 藤 直   | 16 回 生 |
|         | 小笠原 啓 助 | 21 回 生 |
|         | 袴 田 恭 司 | 24 回 生 |
|         | 馬 場 暁 彦 | 24 回 生 |
|         | 深 田 真 弓 | 40 回 生 |
| 関東支部長   | 工 藤 康 寛 | 9 回 生  |
| 監 事     | 横 澤 忠 徳 | 2 回 生  |
|         | 藤 原 誠   | 9 回 生  |
| 事務局 長   | 浦 生 秀 磨 | 19 回 生 |
| 事務局 次 長 | 柴 田 護   | 25 回 生 |
| 事務局 員   | 五日市 弘 誉 | 32 回 生 |
|         | 高 橋 麻美子 | 36 回 生 |
|         | 藤 澤 仁 美 | 38 回 生 |
|         | 笠水上 ゆりえ | 45 回 生 |
| 校 長     | 山 形 守 平 | 11 回 生 |
| 副 校 長   | 清 川 義 彦 | 17 回 生 |
|         | 鈴 木 裕   | 17 回 生 |

## 盛岡三高同窓会 ホームページのお知らせ

事務局からの速報性・機動性のある情報提供、同窓生相互の情報交換の場として、同窓会の独立したホームページが開設されています。今後の本格的な展開に向けて少しずつ情報をアップしていきます。

同窓会のWebサイト <http://www.morioka-sanko.jp>

今後、メールマガジン等の配信も予定しておりますので、皆様の携帯電話・パソコンのメールアドレス登録をお願いいたします。また、ホームページについてのご意見・ご要望等もお寄せいただければ幸いです。

メールアドレス登録、一般会員の連絡用メールアドレス

[abc@morioka-sanko.jp](mailto:abc@morioka-sanko.jp)

※メールには「何回生もしくは何年卒の誰々（旧姓も忘れずに）」の記入を忘れずお願いいたします。

なお、取得した個人情報を本人の同意なしに同窓会関係の連絡以外の目的で使用したり、第三者に提供したりすることはありません。

## 事務局より

日頃より、会員の皆様には同窓会活動に対しご理解とご支援をいただきありがとうございます。

今回の同窓会報も、名簿管理をしている株式会社サラトの住所データ（9月11日更新データ）を利用し、約13,000人の同窓生の皆様に発送しております。本校に転居等の連絡があった場合、サラトに連絡し常に情報を更新おりますが、転居などにより、「宛先不明」で戻ってくる会報も多くあります。住所の変更や個人情報の削除などにつきましては、事務局にご連絡いただければ幸いです。

今年度も、同窓生の皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



岩手県立盛岡第三高等学校

鵬同窓会総会懇親会

平成29年 **10月28日** (土)

総会 ■ 17:30 懇親会 ■ 18:30

# ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

(昨年と会場および時刻が違いますのでご留意下さい。)

〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通 2-27 TEL 019-625-1211

会費 3,000円 (学生2,000円) 当日、受付で申し受けます。

■お申し込み等は **10月18日(水)** までに電話、電子メール、FAX  
にて事務局へご連絡下さい。

■懇親会は、クラス会や部活動のOB会としてもご利用下さい。  
お友達同士、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

## 鵬同窓会事務局

盛岡第三高等学校内

〒020-0114 盛岡市高松 4-17-16

TEL 019-661-1735 FAX 019-661-5570

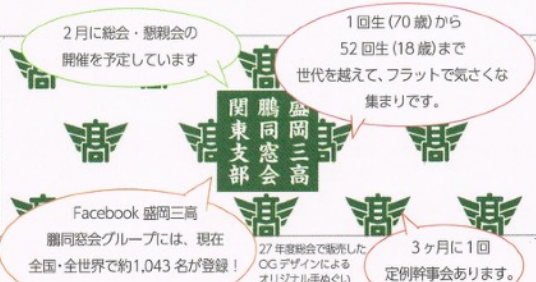
メールアドレス mo3-d@iwate-ed.jp

## OB会だより

### ▼ 関東支部

### 「盛岡三高 鵬同窓会関東支部」 をご紹介します。

鵬同窓会関東支部は関東在住の有志によって運営されています。今年の6月18日(日)には、この春、進学や就職、転勤などで関東方面へ来られた方の「新人歓迎会」を開きました。新卒者22名を含む総勢50名のとても楽しいランチ会となりました。関東支部では様々な部会(ゴルフ、音楽など)が自由に活動しています。また毎年恒例の総会・懇親会の日程が決まり次第、関東支部ホームページ、Facebook、Twitterなどでお知らせいたします。なお、各部会や総会・懇親会への参加は、関東以外にお住まいの方でもご参加いただけます。



盛岡三高鵬同窓会関東支部ホームページオフィシャルサイト:  
<http://moriokasankou.com/>

「鵬 同総会関東支部」への登録の仕方

Mail=[ootori\\_kantou@a-string.com](mailto:ootori_kantou@a-string.com)に空メールを送ってください。折り返し、確認のメールが届きます。  
または、Facebook「盛岡三高 鵬同窓会グループ(参加者のみ閲覧できる非公開グループ)」に参加申請してください。  
関東支部事務局: 安保亮 (あんぱあきら・14回生)  
携帯=090-9314-5290 TEL=042-513-7250



2月18日  
関東支部総会・懇親会、116名の参加。



2月18日  
音楽部会  
関東支部総会・懇親会ライブ。



6月18日  
新人歓迎会。  
総勢 50 名。  
ホテルグランドパ  
レス 1F カトレア。

3月29日  
ゴルフ部会  
ゴルフ倶楽部成田ハイ  
ツリー。12名参加。

